

第654回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1. 新名神高速道路（大津～城陽）大津JCT（仮称）建設工事 … 大津市上田上桐生町～上田上牧町

- ・新名神高速道路は愛知県名古屋市を起点とし兵庫県神戸市に至る全長約174kmの高速自動車国道。
- ・名神高速道路との適切な交通機能分担を確保し、名神高速道路の混雑を解消し、利用者サービスの向上と災害や事故など緊急時や大規模な補修工事による交通規制時には、名神高速道路と交互に代替機能を発揮して的確に交通処理を行うことを目指している。
- ・名神高速道路、中国自動車道など周辺の高速道路とともに、近畿圏と中部圏を結ぶネットワークを形成、強化し、高速道路に求められる「高速性」「定時性」「快適性」「安全性」などの機能を高め、沿道及び西日本の広域医療、観光文化交流等地域の経済性・住民生活への貢献も期待。
- ・大津JCT（仮称）はこの新名神高速道路（大津～城陽間）の交通結節点として工事着手されている。



2. 草津川跡地整備事業

- ・草津川は淀川水系の一級河川で、下流部分は典型的な天井川であり度重なる災害をもたらしていたため、治水対策事業として草津川放水路に付け替えられ、旧河道は廃川となった。
- ・草津市では、この跡地をまちづくりの資源として活用すべく基本構想を策定し、琵琶湖からJR東海道新幹線までを6つの区間にわけ、区間1を滋賀県が、区間2から区間6までを草津市が「草津川跡地利用基本計画（平成24年10月策定）」の整備テーマに基づき、順次整備を実施中。
- ・人々の交流や多様な文化・コミュニティ活動が活性化される「人々の心を強くひきつけ、末永く愛される新しいにぎわいのステージとする」ことを重要と考え、草津市の都市価値を高め、未来に新しいチャンスを広げる空間としてとらえ、「どこにもない 魅力まちづくりの舞台開き」を目指した。
- ・平成29年4月に「a i 彩ひろば（区間2）」と「d e 愛ひろば（区間5）」が開園し、市民の憩いの場となっており、イベント開催時には多くの人々で賑わいを見せている。

…………… 草津市大路



3. こんざかわ金勝川広域河川改修事業

- ・金勝川は、栗東市、湖南市、甲賀市に位置する阿星山に源を発し、途中、細川、雨丸川、山田川が合流し、名神高速道路を横断して草津川に注ぐ、流域面積20.93km²、流路延長10.4kmの一級河川。
- ・特に、草津川合流点から名神高速道路上流までの1,800mの区間については、県内で有数の天井川となっており、その沿川には住宅地が密集していることから平地河川化は地域の悲願である。
- ・草津川放水路完成後の平成15年より、草津川合流点から上流に向け事業を実施している。

…………… 栗東市目川

